



### 効率的な管路更新計画の立案

チョコレートが街角でよくみられる2月ですが、チョコレートの甘さは概ねお砂糖の甘さというはご存知でしょうか？原料のカカオは16世紀にコロンブスによって南米からヨーロッパに持ち込まれました。当時南米では、万能薬としても扱われており、甘味はなく苦みが非常に強いものでしたが、その後のヨーロッパで砂糖をいれた甘い飲み物になりました。日本への上陸は18世紀で、はじめて国産が登場したのが、1878年「貯古齡糖」という商品です。

中世では貴族のし好品。味わっていただきましょう。 DUCTILE TIMES編集部

すでに突入している管路更新時代、  
 铸铁管やダクタイル鉄管を更新する上で、  
 計画立案に必要な要素は、  
 ①布設年、②埋設土壌環境、③管種  
 などがあります。

水道管の使用期間が長いほど、老朽化が進んでいると考えられがちですが、  
 実は、埋設土壌の環境に大きく左右されます。そのため、一般的にダクタイル鉄管は長寿命が期待できますが、  
 管路の更新時期は、埋設場所によって異

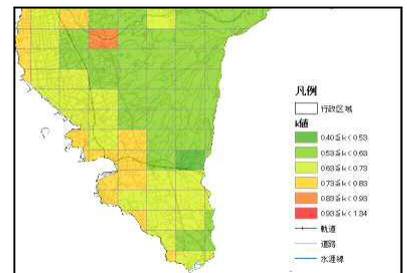
なります。このようなことから、布設期間だけでなく、埋設環境（地下水の有無や、地下水成分、土壌環境）などから、多面的に判断されることをお勧めします。

管路の老朽度診断は、限られた財源の中、より効率良く管路更新工事を進める一助になるかと考えます。

また、管路更新の際は安心、安全で長寿命が期待できる耐震型ダクタイル鉄管の採用をご検討ください。



「僕たち私たちの水道水」  
 (ダクタイル鉄管協会PR資料)より抜粋



埋設環境ハザードマップの一例

### 管体調査を更新計画に活用されている事例をご紹介します。

#### 埼玉県 川口市様

全国の水道事業者でも課題とされているように、  
 本市でも老朽管更新を重点課題と位置付けています。  
 平成25年度の時点で更新対象管路延長が104kmありました。

そこで、実耐用年数に応じた更新の計画を行えるよう、  
 管体の老朽度診断を実施することになりました。  
 平成26～28年度の3カ年をかけ、更新工事箇所、  
 のべ57か所で管体、土壌、地下水調査を実施し、  
 実耐用年数の推定を行うことで、  
 更新順位決定についてのルール化を行いました。

その結果は、平成29年度に策定された施設更新基本計画にも反映され、  
 最新の本市水道ビジョン「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン」  
 で、より効率的な更新計画の立案に繋がっております。

今後もこの計画に沿って、着実に管路更新を進めていく所存です。

(埼玉県 川口市上下水道局  
 上水道建設課長 山本様)



当市水道局のシンボル  
 上青木浄水場の配水塔



### From 静岡県浜松市 浜松市立鴨江小学校

寒さ厳しい1月末、浜松市立鴨江小学校で地元工  
 会社主催の水道管の出前授業が開催され、先生役として  
 弊社の担当者が訪問させていただきました。

始めに体育館でスライドを使用して水道の仕組みや  
 地震に強い水道管の理由などをお話しし、次に、場所  
 を校庭に移して、児童の皆さんに水道管を実際につな  
 ぐ体験をしていただきました。普段は地中にあるため、  
 見えない水道管ですが、その働きに興味津々の皆さん  
 でした。

一生懸命に水道について学ぼうとする子ども達の姿  
 勢を目の当たりにし、水道施設の大切さを伝える重要  
 性を改めて感じました。

次世代を担う子どもたちが安心して生活できるよ  
 う、これからも地域の皆さまのご協力を得て、水道  
 事業に貢献していきたいと思っております！



鴨江小学校4年生の皆さま